



◆わかやま高校生クイズ in English◆ — 耐久生3チーム出場 —



12月18日(土)和歌山マリーナシティ イベントホールを会場に今回で10回目となる「わかやま高校生クイズ in English」が開催されました。本校からは、英語部、生徒会を中心にチームを作り、3チームが出場しました。和歌山県に関するクイズが多く、本校の創設者である濱口梧陵に関するクイズも決勝の早押しで出題されました。「濱口梧陵は何に火をつけて人々を津波から救ったのか？」正解は「稲むら」なのですが、どの高校生も英語で答えることができず、難しい問いになりました。英語では「Rice Sheaves」または「Rice Straw」です。耐久生としては、必ず答えられるように覚えておいて欲しいものです。惜しくも入賞はできなかったのですが、楽しみながら和歌山県に関する知識を増やすことができた1日となりました。

◆自転車鍵掛け啓発ポスター校内掲示◆



本校は先日、「きしゅう君の自転車鍵掛けコンテスト2021」で特別賞を頂きました。生徒一人一人の防犯意識をより高めるための取り組みとして、三年生美術選択生が自転車の鍵掛け啓発ポスターを作成し、ポスターのラミネート・掲示を生徒会役員が行いました。



「昨年度から啓発ポスターの掲示・自転車の施錠をするように声かけを行い、防犯意識を高め、施錠率が上がるよう取り組

んで来ました。特別賞を頂いてからは、より防犯意識を高めた行動が私たち一人一人に必要だと考え、啓発ポスターを増やすなど、施錠の習慣化を目指して活動しています。『自転車をとめたら鍵を掛ける』ほんのわずかの時間でできる行動です。皆さん一人一人が施錠を心がけること。自転車をとめた友人が鍵を掛けていなかったら一声かけること。ほんのちょっとした意識と小さな行動で大きな安全へと繋がります。耐久高校生として、社会の一員として、一緒に取り組んでいきましょう。」

(生徒会長 榎本千洋)

◆感謝を込めて運動部がグラウンド整備◆



12月21日(火)放課後、グラウンドを使用している陸上競技部、硬式野球部、軟式野球部、サッカー部、ハンドボール部がグラウンドに塩化カルシウムの散布を行いました。グラウンドの凍結防止、乾燥対策などを目的として毎年行われている活動です。部活動の垣根を越えて互いに協力し、日ごろ利用しているグラウンドを丁寧に整備していました。今後も各クラブで協力しつつも互いに刺激し合い、それぞれの活動をよりよいものにしていきます。

(軟式野球部顧問 中村知)

みんなが積極的に動き、自分で自分の仕事を見つけて行動することで効率よくグラウンドの整備を行うことができました。これからもグラウンドを利用させてもらえることに感謝し、日々精進していきたいと思います。(軟式野球部副主将 清水康生)